

町民の声が届く まちづくりの確立を目指して 地域懇談会開催

6月1日から始まった地域懇談会が402人の参加を得て全行政区で終了しました。

今回の懇談会は、今後のまちづくりの方向性(▽地方創生▽産業振興▽世界遺産)について、や財政状況など、地域の皆さんとの対話を通して、今後のまちづくりに向けた活発な意見交換が行われました。

今回いただいた貴重な意見や要望を踏まえながら、今後のまちづくりに生かし、町民一人一人が元気になるような町政運営に取り組んでいきます。

今月号では先月号に続き、地域懇談会で行政区から寄せられた主な質問、意見についてご紹介します。

寄せられた 主な質問、意見など

- Q** 老人クラブなどでやっている花壇や小公園が荒れ放題。どのように考えているか。
- A** 婦人会や事業者でやっているところもある。補助などについて検討したい。
- Q** 荒れ放題の大字キャンプ場の今後の見直しについて。
- A** テントデッキの補修、草刈について検討していく。
- Q** 条例などで道路に木がなかったら所有者に確認せずとも切つて良いことにできないか。
- A** 町道沿いを伐採する場合においても所有者に許可を取っている状況である。
- Q** 現在生活道路として使っている道路にも覆い被さった木がある。行政区で伐採した場合、補助などはないのか。
- A** 地元の人たちがボランティアで、
- Q** 東福山に桜を植えることは良いと思うが、以前の反省を踏まえてやってほしい。
- A** 年次計画を立てながら、植栽をしていきたいと考えている。桜山を復活しようということでも桜の会を設立した。イオンの事業の中でそのようなことをやっている部署があり、町に協力したいと言われている。一度に何千本も植える



- ア的な形で伐採してくれるのであれば、油代、お茶代くらいは考えたいと思っていた。5人以上で組織を作ってもらえば使える補助金もある。
- Q** 木工芸館の周りに咲いているアジサイについて、花が邪魔となって見通しが悪くなっている危険はない。
- A** アジサイを楽しんでいる人たちもいるのですべて根こそぎ切るのはいかがかという意見もある。
- Q** 総合戦略の中に「中心市街地空き家・空き地対策事業の
- ることはできないので、イオンと協力しながら徐々に植えていきたい。過去の反省を生かし、今後の課題も予想しながら対処していく。
- Q** 荒れた空き家を何とかしてほしい。
- A** 空き家対策について、法律施行された。町で計画を作り特定空き家と認定した場合、強制力を持った対応が可能となっている。今後町でも対応していきたい。直せば使える空き家もあり、そのような空き家の活用策を出していきたい。

- 実態調査というのが、中心市街地だけでなく農村部にも空き地や空き家はある。
- A** 本年度はまず毛越寺通り、中尊寺通りの空き店舗について基礎調査を行う。その後、町内全体についても状況調査を行いたいと考えている。
- Q** ごみのポイ捨てが非常に多い。
- A** モラルの問題なので一人一人の意識を上げていくことが必要だと考えている。
- Q** 上野台住宅は現在1区画空いている。どのようにしていくのか。
- A** 上野台住宅の跡地については、町では定住化促進ということでも若い人たちに住んでもらえるような計画を考えている。来年度以降、計画を進めるために国や県と協議中である。
- Q** 小児救急医療の対応、休日当番医の体制を検討してほしい。
- A** 小児科医の減少により、医師会の内科でも対応できるようにしてきたが、休日については難しい。
- Q** 長島小学校は生徒数が減少しているが、どれくらいまでいったら平泉小学校と合併になるのか。
- A** 0〜6歳までの出生率を見ると、おおよね15人前後は確保できるようなので、この5、

6年はまず大丈夫だと思っている。統合の考え方としては、学年で1クラスが維持できない状況、複式学級になってくると検討が必要となる。住民の人たちの意見を聞きながら進めていきたい。

- Q** 長島小学校児童クラブを設けてもらいたい。感謝したい。公設民営なので、行政のさらなるバックアップをお願いしたい。
- A** 平泉側の学童保育は、当初から同じ人が運営している。長島においても、継続性がある形を検討していきたい。
- Q** 県道の歩道が片側だけであり横断できる場所が交通量に対して少ないと思う。信号は難しいと思うが横断歩道の設置をお願いしたい。
- A** 横断歩道設置などの要望は公安委員会には毎年のように出している。あらためて設置が難しいか否か確認し、対応していきたい。
- Q** 矢巾の中学生の自殺があり、いじめについて、平泉の子どもは大丈夫か心配である。こうしたことがないようにしてほしい。
- A** 町内には小中学校が3校あるが、3校ともいじめ防止の計画を策定している。実効性があるものになっているのか

- どうかについても検証した。何かあった場合はすぐに集まり、その事案について検討して取り組む。そして保護者との連携も取るということにしている。衝動的に何かあってもおかしくないで、子供たちの様子を十分気をつけて見ている。先生同士の横のつながりはきちんとなっているのか。
- A** 教員は忙しい毎日を送っているが、長島小学校では毎週金曜日に職員室で1週間を振り返る時間を取ってそれぞれ学級の情報交換を行い、みんなで問題共有をする時間を取っている。そういった努力が問題解決につながるのだと思う。
- Q** 放射線量に関係して水路側溝の泥上げができない。解決手段を考えているのか。
- A** 国でまだ処理基準を示していない。そのため市町村単位でどこかに埋めておくしかない。
- Q** 一人でも多くの人に甲状腺の検査を早く受けてほしい。
- A** 甲状腺検査については、因果関係ははっきりしないものの、健康に不安を感じていることが問題なのだと思う。希望者には受けてほしい。
- Q** 世界農業遺産について教え

- てほしい。
- A** 世界農業遺産は本年3月に県からエントリーを勧められた。世界農業遺産とは国連で認定するもので、今のところ13カ国31カ所が認定されており日本では5カ所。世界農業遺産は文化遺産のような制約はない。詳しく研究しながら進めていきたい。
- Q** 棚田のような場所が登録に値すると聞いた。やはり景観が重要だということになるのか。
- A** 重要な要素にはなる。この地区を守り継承していくために農業遺産は大きなポイントになる。
- Q** 平泉のりんごは30年前から品質の良い物を売っている。平泉りんごをブランドとして高めていってほしい。
- A** 道の駅のためにもそのように進めていきたい。
- Q** 地域課題の決定はどのように進むのか。
- A** 全てで130件近くに及ぶ。1千万円を用意しているが、例えば道路改修を一カ所やったらそれで1千万円が終わってしまう。単純に21行政区で割るとだいたい50万円くらい。現地を確認し、共通認識した中で調整を行う。緊急性の高い所から取りかかるため

- の選定をしたい。
- Q** 町民温泉のお客さんが少なかった。料金に関係しているのではないか。
- A** 町民温泉は町民の福利厚生施設としてこれからもやっていきたい。
- Q** 町民温泉の話だが年間パスを作ってみてはどうか。
- A** 良い方法だと思う。検討させていたただく。
- Q** 中尊寺通りが完成したときには、大きなイベントをやってほしい。
- A** 29年度の完成に合わせて、いろいろ企画していきたい。
- Q** 中尊寺通りのトイレの管理は誰が行うのか。
- A** 県道のうちは県に管理をしてもらう予定である。
- Q** 企業誘致はどこを考えているのか。
- A** 高田前工業団地がまだ空いている。また、大平の土取り場の跡地もまだ私有地であることから、具体的な話はしていないが、工業団地にしたほうが良いと思っている。
- Q** 親自在王院跡でのイベントをもっとPRしてほしい。
- A** イベントのPRについては平泉FMからも発信してもらっているし、チラシも出している。工夫していきたい。



- Q** 社会福祉協議会職員の残業が多いようだ。適切な管理が必要ではないか。
- A** 別組織ではあるが、町としても対応していく。
- Q** リニアコライダーについて、平泉が拠点となればメリットがあると思うが、一関や奥州が拠点となった場合のメリットは。
- A** リニアコライダーは、大原が中心に考えられているので、中心施設は大原にできると思う。ただ研究者やその家族、関係者などが住むことになれば、さまざまな施設が必要になるため、周辺市町にも経済効果が及ぶと思う。